

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6 名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 86%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・発達支援室では、テーブルの配置の工夫を行い、身体を動かす活動をするスペースと学習や作業に取り組めるスペースを区切って対応している。
- ・個別課題の時には周囲が気にならないように壁に向かった座席配置にし、集中して課題に取り組める環境づくりに努めている。

○業務改善

- ・毎日、業務前ミーティングを実施し、職員それぞれから意見が集約できる場を設けている。それぞれの得意な分野を活かして、運営や支援に関しての意見や改善提案ができる場となっており、風通しがよいと感じている。

○適切な支援の提供

- ・活動内容については、子どもの意見を取り入れることもあるが、職員が主導となって決定していることが多い。子どもたちや保護者のニーズを細やかに拾っていける仕組みや場を作り、それぞれの意見を集約した活動プログラムを組み立てていけるようにしていく。
- ・集団活動プログラムの内容提案や決定、実施が、特定の職員に偏らないように適宜分担の見直しを行ってきた。引き続き、その時の職員体制に応じて、適切に分担を行っていく。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者を通じて、行事の日程や下校時刻など必要な情報を収集している。学校での様子を詳しく聞き取るようにしている。
- ・新規でご利用を開始する際にも、必ず利用前に面談を実施し、子どもについての情報を十分に得たうえで支援計画をたて、計画に基づいて支援が始められるようにしている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会だけでなく、課外活動への見学など、保護者が活動の様子を見ることができる機会を作っている。また、その際には保護者同士が話しをする時間を設け、交流の場を提供することもできている。

○非常時等の対応

- ・アレルギーに関しては、利用前に必ず確認を行い、その後も年度替わりのタイミングで状態が変わりがいかどうかを確認するようにしている。アレルギーをお持ちの子については、保護者から詳しく対応について聞き取りを行い、子ども毎の対応方法について職員間でも共有を行っている。
- ・年度初めにお便りにて安全計画の内容を周知しているが、実施結果についての周知が不足していると感じるため、今後の改善を検討したい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・人員配置については「少ないのでは…」と不安を感じられている保護者もいたため、職員体制についての周知をしっかりと行い、適切に配置されていることを説明していく必要がある。
- ・フラットな空間で過ごしやすそう、光がよく差し込んでいて他の事業所よりも明るい印象があるとの意見をいただき、活動スペースに関しては十分な広さがあると全ご家庭から評価をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・面談があるので話しやすい、公園などでの活動があれば尚よし、とのご意見をいただいた。
- ・こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか、との問いに対しては95%のご家庭から「はい」とのご評価をいただいた。

○保護者への説明等

- ・「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたかの質問や利用される際に丁寧に説明はされているか、の問いに対してはほぼ全員から「はい」との回答をいただいた。
- ・「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。」との問いに「わからない」、「どちらともいえない」との答えが半数以上だったため、周知の方法など改善が必要と考えられる。

○非常時等の対応

- ・毎月行っている避難訓練についても「わからない」との回答が15%、「事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか」の問いに対しては30%が「わからない」との回答であり、周知の不足が課題としてあげられる。

○満足度

- ・「楽しんで自発的に通所している」とのご意見をいただき、安心感を持ち通所を楽しみにしているとの回答が多く寄せられた。
- ・「送迎サービスを受けられるようにしてほしい」とのご意見もいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・定期的なブログの更新を行い情報発信を行なっていく。
- ・保護者会を実施し保護者間の交流の場を提供し参加する機会を作る。
- ・教室内職員研修を行ない指導員の質向上に努める。
- ・送迎においてなど調整、工夫を行ない安定した運営体制を整える。
- ・緊急時の対応についてマニュアル等手紙を作成し、周知する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・ブログ更新については改善に至らなかった。業務分担を行い、計画的な更新を行って行く。
- ・保護者会だけでなく課外活動において見学する機会を設けることが出来た。
- ・教室内研修については、今後も継続して職員の資質向上のため実施していく。
- ・職員の定着により安定した運営体制を取れるようになっている。
- ・緊急時の対応についてもお便りとして配布し、周知することができたが、アンケート結果から周知にはまだ不足があると読み取れるため、周知方法や頻度について見直しが必要。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・業務前ミーティングだけでなく日常の支援の場でも職員間で話し合いやすい環境が出来ており、児童の特性を踏まえ率直に意見をかわす事で、より良い支援について話し合い、安全で安心な場所を提供することが出来ている。
- ・通所への安心感や満足度では9割近くが「満足している」との回答をいただいた。

○改善点

- ・「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。」との問いに、8割が「わからない・どちらともいえない・いいえ」との回答だった。情報の伝え方には改善が必要。
- ・緊急時等の対応については、お便りの配布なども行ってきたが、内容の説明や周知は不十分であった。周知の方法や頻度について、見直していく必要がある。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会など参加していないご家庭への周知方法を見直し、各ご家庭に伝えられるように改善する。
- ・保護者との交流、相談の場を設け周知していく。
- ・緊急時の対応について周知方法や周知頻度の改善により、保護者の理解を深めていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・担当者をきめ、1回／月以上はブログ更新し、活動の様子について情報発信を行なっていく。
- ・年2回、保護者会を実施し、保護者間の交流の場を提供し参加する機会を作っていく。
- ・安全計画や各種委員会規定に基づき、教室内職員研修を行い、指導員の質向上に努める。
- ・緊急時の対応についてマニュアル等手紙を作成し、周知するだけでなく、保護者会などの機会をもって、口頭でも説明や周知を行っていく。